



駅西口の「富士見テラス」

関東の富士見百景に

選定される

『水と緑とふれあいのまち東久留米』

～勇壮な富士山と誓う

わがまち東久留米への郷土意識を大切に、市民と行政、みんなの力で、今年も健康で活気に満ちた住み良いまちづくりを目標として一緒に取り組んでいきたいと思います。
本年もよろしくお願ひします。



ようこそ！わがまちの「富士見テラス」へ

6年11月16日にオープンした東久留米駅西口。市の施設「富士見テラス」は、トチノキ並木の「まさにえ富士見通り」を望む駅舎の2階にあります。

天気の良い日は、一直線に西へ伸びた通りの延長線上に富士山を見ることができます。

市民や駅利用者の待ち合わせや語らいの場として、また散策の経路として、富士見テラスは富士山の眺望が楽しめる市のランドマークとして多くの方から愛されています。

「富士見テラス」へは1階待合所付近の「階段」と、エレベーター2階昇降口横の「自動扉（自由通路からテラスへ）」から入場できます。ぜひ都市空間のはざまに「凜りん」とそびえ立つ、富士山の景観を堪能しに行らしてください。



17年10月、関東の富士見百景に市の富士見テラスが選定されました。
この富士見百景は国土交通省関東地方整備局が、「美しい関東の風景」の一環として、富士山への良好な眺望が得られる地点について、周辺景観の保全や活用への支援を通して、美しい地域づくりの推進に寄与することを目的に募集し選定を進めていたものです。今回の選定は第2次募集分で、1次募集分と合わせて128景が選定されています。
富士見テラスの選定は、東久留米駅西口から富士山の景観を意識して真つすくに延びる都市計画道路東3・4・19号線（通称「まさにえ富士見通り」）とその沿道で毎年開催される市民みんなのまつりや、四季を通して草花の植栽を行うNPOの活動が評価されたものです。
11月29日に選定証書授与式・地域づくり交流会が開催されました。基調講演の中で、選定委員でもある東北芸術工科大学教授の三田育雄氏は、この富士見テラスを、「都会の中での富士見地点として、富士山の景観を邪魔する構造物がなく、道路を挟むビル群が見事な借景となっている特異な例」として取り上げ、高く評価されました。

富士見テラス通信

皆さんからの声

「散歩の途中で、テラスから富士山を眺めるのが楽しみです」と、大門町在住の坂倉さんご夫婦。「この素晴らしい景観を壊さないように、ほかに何も造らない（ビルなど）でほしいですね」と、感慨深げに語っていただきました。いつもは黒目川付近から富士山を眺めるのですが今朝は天気が良いので美鳥橋（落合川）からの景観も楽しみに行かれるとのことでした。

「休日の朝、子どもたちを連れてよく来ます」と、勝又さん理由を尋ねるとこのテラス



下里在住の勝又さん 右と山崎さんのご家族

は、大好きな電車と富士山が両方楽しめる最高の場所なんです。ここから眺める富士山を見た子どもたちは「嬉しそうに話していただきました。」「レツドアローだ！」「年中のお兄ちゃんかお兄ちゃん、みんなの視線は通過する電車にきき付け。今日も同じ歳の兄弟をお持ちの山崎さん親子と一緒にのことでした。」